

2020年3月27日

関係各位

公益財団法人東京都サッカー協会

新型コロナウイルスの対応について（3月27日時点）

～各種事業の原則自粛（延期・中止）のお願い及び事務局閉鎖の継続～

東京都では日々感染者数が増加傾向で、現在全国最多となっております。

3月23日には、東京都庁で新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、会議終了後に記者会見を行った小池東京都知事より「この3週間で、オーバーシュート（感染爆発）が発生するか否かの大変重要な分かれ道である」ことから、今後3週間、イベントなど人が密集する空間への外出を控えるよう強い呼びかけがあり、都内で大規模な感染拡大が認められた際には、東京都を封鎖する「ロックダウン（都市封鎖）」も検討するとコメントがありました。特に感染源や感染経路が不明な事例も多数見られることが大きな要因のひとつとして挙げられております。さらに3月25日には「感染爆発が、今、まさに重大な局面」であり、都民に対して、平日の在宅勤務推奨、夜間の外出自粛、この週末の不要不急の外出自粛という要請がありました。

このような状況を鑑み、東京都サッカー協会では、引き続き感染拡大防止に努めるため、4月12日まで事務局の閉鎖（役職員の在宅勤務）期間を延長することを決定いたしました。期間中、役職員は外部との会議や業務等は特別なケースを除き原則禁止としております。

また、東京都の方針に倣い、東京都サッカー協会主催のすべての事業（大会・会議・研修会等）について、4月12日まで原則として自粛（延期・中止）をお願いいたします。

4月13日以降の対応につきましては、日本サッカー協会および東京都等の判断に合わせ、改めて検討のうえ、然るべき時にご案内させていただきます。

東京都サッカー協会の対応にご理解・ご協力いただくとともに、引き続き感染拡大を防止し、感染の流行を早期に収束させることができるよう、徹底した対策を講じていただきますよう重ねてお願い申し上げます。